

## 横浜市会議員

月刊・伊藤ひろたかの  
1分でわかる市政レポート

伊藤ひろたか事務所 〒226-0003 緑区鴨居3-3-2 川端ビル1F ホームページ: <http://hiro-chan.net>  
TEL & FAX 935-7850 e-mail: [voice@hiro-chan.net](mailto:voice@hiro-chan.net)(PC) [hero1001@ezweb.ne.jp](mailto:hero1001@ezweb.ne.jp)(携帯)

## 海外水ビジネス、やるなら小異を捨てオールジャパンで

先月号では横浜市が100%出資して水道の外郭団体の設立を計画していること、私は計画に対して反対である旨をレポートしました。そうは言っても対案を示さず、反対するだけでは意味がありません。今号では、横浜水道の強みを明らかにしながら、海外水ビジネスを展開する場合の、あるべき姿について述べたいと思います。

**横** 浜水道の強みはどこにあるのでしょうか？私たちが普段何気なく使っている水、国際的に見て競争力があるのでしょうか。

重要になります。私は、横浜市が海外で水ビジネスを展開するチャンスがわずかではありますが、あると思っています。

**海** 外で水ビジネスを展開するのであれば、少なくとも自分たちの強みと弱点を理解しておく必要があります。その上で、弱点を誰に、どのような形で補ってもらうのか、その戦略が

**下** の表をご覧ください。世界における水道事業者の漏水率の一覧表です。どうですか？横浜市や東京都の漏水率の低さが際立っています。漏水率が10%を切れば優秀とされる



略歴  
1977年生 32歳  
2002年 早稲田大学大学院  
理工学研究科修了  
  
2002年 日経BP社入社  
主に知的財産、環境、ITなどを  
記者として取材  
  
2007年 横浜市議会選挙  
2008年 マニフェスト大賞  
最優秀アイデア賞  
受賞  
  
2009年 マニフェスト大賞  
最優秀成果賞  
ノミネート  
  
無所属クラブ 副団長  
資源循環・環境創造委員会  
委員  
大都市行財政度特別委員会  
委員

都市	経営主体	給水人口 (万人)	漏水率 (%)
ロンドン	テムズウォーター	700	26.5
トリノ	トリノ市水道局	120	25
ベルリン	ベルリンヴァッサー・インターナショナル	350	5
ロサンゼルス	ロサンゼルス市水道電力局	380	9
香港	香港特別行政区政府水道局	675	26
仁川	仁川広域水道部	225	17
横浜	横浜市水道局	378	4.6
東京	東京都水道局	1213	3.6

表1：世界各都市における水道の漏水率

中で、漏水率が5%を切る日本の水道技術の高さは目を見張るものがあります。ここは横浜市にとって大きな強みになります。もう1つ、強みがあります。それは膜技術。東レや日東電工、三菱レーヨンなど世界における日本の膜メーカーの存在感は際立っています。もっと言えば、水道水の質の高さ。世界の中で、蛇口から出る水を飲める国は、たった11カ国しかありません。高品質な水を漏水率5%以下で供給している、日本の、横浜の水道技術は極めて高いと言えます。

**た** だし、技術だけあっても世界では勝てません。技術は世界最高水準を誇りながら、海外市場で存在感が全くない日本の携帯電話を見れば、一目瞭然です。何が足りないのかと言えば、海外市場における需要（市場ニーズ）を的確に把握する能力です。要はマーケティングが足りないのです。

**本** 気で海外で勝負するのであれば、まずやるべきは自治体同士のつまらないプライドを捨てること。つまり小異を捨てて、オールジャパン体制を構築し、海外に打って出るべきです。恐らく、日本が海外の水ビジネスで土俵に乗るにはオールジャパンでやる以外にありません。

**次期中期計画に参加しませんか？**

横浜市は平成22年12月までに次期中期計画を策定します。4月1日に次期中期計画の基本的な考え方が発表されました。

横浜市は市民への出前説明会を開催したり、市民からの政策提言も受付けています。

ぜひ、参加してみませんか？詳細は私のブログを確認下さい。

**第2回ハマカフェ開催しました！**

4月23日、第2回ハマカフェを開催しました。緑区から6名、旭区、都筑区

港北区、鶴見区、市外からも多数ご参加頂き、総勢25名の参加でした。今回はまず、横浜水道事業の現状と、海外水ビジネスの現状についてお話をしました。今回お示しした基礎データを元に、次回（5月21日（金））は、『海外水ビジネスを成功させるために何が必要か』、『はまっ子どもは必要か』というテーマ設定の下、参加者で自由に議論してもらおう予定です。参加ご希望の方は、連絡下さい。

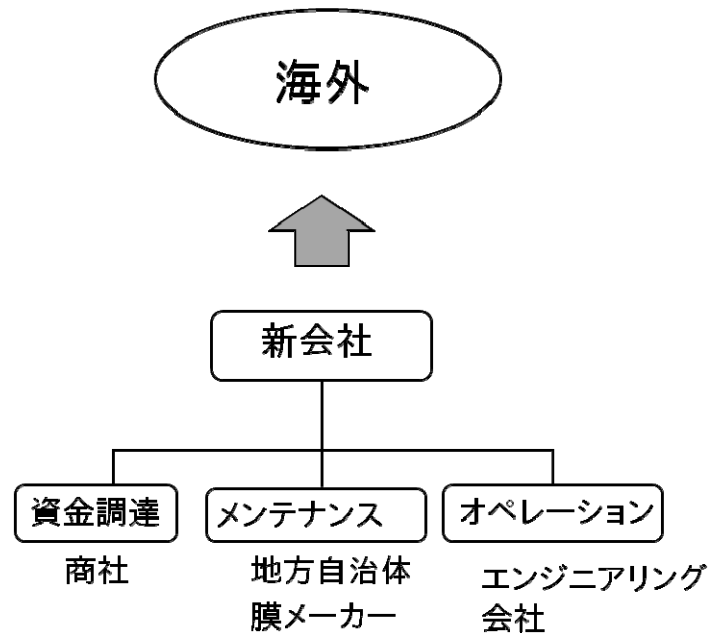


図1：オールジャパンが唯一の策

**既** に東京都は動き出しています。商社や金融機関と手を組んで、海外に打って出る準備を進めています。技術力が高い東京都と横浜市が手を組めば、私はまだ可能性があると思います。そして、もっと重要なことは、海外での契約や資金調達などはノウハウを持った商社や金融機関などに任せること（図1）。自治体の水道事業が持つ強みはあくまで、出来あがったシステムの運営です。世界のマーケットで戦うのは、生半可な覚悟では無理です。ましてや、公務員だけの集団では絶対に無理です。今後、議会の中で問題提起をしていきたいと思っています。



問い合わせ先：[hero1001@ezweb.ne.jp](mailto:hero1001@ezweb.ne.jp)